

施策評価調書(26年度実績)

施策コード I-4-(2)

政策体系	施策名	みんなで進める健康づくりの推進	所管部局名	福祉保健部	長期総合計画頁	43
	政策名	医療の充実と健康づくりの推進	関係部局名	福祉保健部		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	生活習慣病対策の推進	介護予防の推進	地域リハビリテーション体制の整備	総合的な自殺対策の推進

【Ⅱ. 目標指標】

指 標		関連する 取組No.	基準値		26年度			27年度	目標達成度(%)					
			年度	基準値	目標値	実績	達成度	目標値	25	50	75	100	125	
i	健康寿命(歳)	男性	①	H13	75.91	78.04	77.04	98.7%	78.25					
		女性	①	H13	79.75	81.23	80.35	98.9%	81.42					
ii	自殺死亡率(人口10万人あたりの死亡者数:人)	④	H17	24.3	20.3	17.6	113.3%	19.9						

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理由等	平均評価
i	概ね達成 健康づくりのための普及・啓発事業等を展開したことなどから、概ね目標値を達成した。	達成
ii	達成 自殺予防対策として対面型の相談支援事業の実施や、自殺企図者や遺族に対する支援、自殺予防週間の街頭キャンペーン等による普及啓発、うつ病対策、市町村が実施する自殺対策事業への支援等に取り組んだ結果、目標値を達成できた。なお、26年度実績値は27年9月頃確定のため概報値を記載している。	

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・国保特定健康診査の実施により、生活習慣病対策の推進を図った。(H25大分県速報値:39.4% H25全国速報値:34.3%)
②	・「生活機能向上支援マニュアル」作成と研修等での活用(受講者3,080名)、介護予防拠点となる事業所等へのリハ専門職等派遣(7カ所)、介護予防体操指導者派遣(10市町)を行い、自立支援型サービスの拡大及び住民主体の介護予防活動の推進を図った。
③	・地域リハビリテーションに従事する職員等に対し、体系的な研修を実施することにより、資質の向上を図った。(受講者数:3,143人)
④	・県内の大学、専門学校生を対象に自殺予防講習会を実施(受講者数:315人)するとともに、若者向け情報誌に相談窓口を掲載するなど、若年層の自殺予防を図った。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(26年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	27年度の方向性	
①	生涯健康県おおいた21推進事業	15,833	A	継続・見直し	53
④	自殺予防対策強化事業	43,826	B	継続・見直し	54

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○生涯健康県おおいた21運動推進部会(H26.12)</p> <p>・運動をする人とならない人の2極化が起こって、無関心層の人への働きかけの工夫が必要である。</p> <p>○8020運動推進協議会(H27.2)</p> <p>・フッ化物洗口の虫歯予防に対する有効性発揮のためには、基本的な生活習慣の確保が重要である。</p>	<p>○地域・職域連携推進部会(H27.2)</p> <p>・関係機関との連携により、特に規模の小さい事業所への健康づくりの支援が重要である。</p>
--	---

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<p>・「第二次生涯健康県おおいた21」計画に基づき、計画策定から10年後(H34年度)を見据えた取り組みを実践することにより健康寿命の延伸を図る。最初の3ヶ年において、適正な食生活や運動習慣の定着を図ることに重点をおき、加えて要介護状態や長期療養生活につながる脳血管疾患や糖尿病をはじめとする生活習慣病に対する予防事業を行う。</p> <p>・健康づくりに無関心な層の人も、自然に健康づくりができる環境整備に取り組む。特に青壮年期の適正な生活習慣の獲得に係る環境整備に取り組む。</p> <p>・平成24年度に改定された大分県歯科口腔保健計画に基づき、歯科口腔保健の推進の取り組みを強化する。</p> <p>・高齢者が住み慣れた地域で生き生きと自立した生活が送れるよう、サロン等でのめじろん元気アップ体操(介護予防体操)の普及などにより住民主体の健康づくり・介護予防を推進する。</p> <p>・地域における自殺対策力の更なる強化を図るため、市町村との連携を密にし、若年層対策や経済情勢の変化に対応した総合的な自殺対策に取り組む。</p>